

進路指導部通信 2014

第 6 号

親和女子高等学校進路指導部

中間考査も終了し、5月も残すところあと1週間になりました。この機会に一度、1学期の前半を振り返ってみてください。満足にできなかったところ、足りなかったところを補充し、後半、より充実した生活を送れるようにしてください。誰かが何とかしてくれるという他人任せにならず、自分自身の頭を使って手を動かし、着実に歩んでいくことを願っています。

先日、同志社大学文化情報学部の先生が学校案内で来校されたときに、求めている学生像についてお話をされました。それはこのようなことでした。「これからの時代、安定、安心ということはなく、これから先の日本はどうなるかわからない。たとえば大きな企業に就職できたとしてもその企業が傾いたり、大量に人員整理したりするかもしれないような時代。しかしそんなときでも解雇された全員が職を失い、たいへんになったわけではない。技術をもっていたり、特定の技能をもっていたりしていた人は、次のステージでちゃんと活躍できている。今は難関大学に入学したからとか大きな企業に入社したから安心、安定は得られない。誰かが何とかしてくれるというのではなく、自分自身がどんな能力を身に付け、自分自身を高めていくかが大切で、そのストックを学生時代にしっかりと蓄えてほしい。そんな自分自身をしっかりと育て上げる姿勢をもった人に同志社大学に来てほしい。」

当然といえば当然の言葉ですが、実際に、学生を育て、研究活動、就職活動を見てこられた先生の言葉だけにずっしりとしたものを感じました。これは同志社大学に限らず、どこの大学、どこの専門学校でも共通の求められている学生像だと思います。そして今、親和生が一人ひとりがそうあってほしいと感じています。

中間考査の間違い直し・復習を！

中間考査の返却がすでに始まっています。返却されたら、必ず、考査の間違い直しをしましょう。授業のノートに、もう一度、解き直し、次に同じ問題が出されたら満点が取れるまで理解を進めてください。中学生の進路通信にも書いてありますが、大切なことは“気づき”です。考査のどこを間違ったのか、どうして間違ったのか、しっかりと振り返り、自分の弱点に“気づき”，次のステップにつなげてほしいと思います。考査は、①普段の授業と家庭学習→②考査→③やり直しを通して、自分の力になるものです。いま学習している内容、基本事項はすぐに振り返り、確実に習得し、積み残しのないようにしてください。

6月6日・7日 高校3年マーク模試 自己採点のトレーニングを！

6月6日(金)～7日(土)に高校3年マーク模試を実施します。今回のマーク模試の結果と4月に受験した記述模試の結果を合わせてドッキング判定を出し、夏休みの3者面談の資料をつくる予定です。マーク模試の目的はセンター試験、そしてマーク方式で行われる私大の試験の対策です。ここでは、センター試験を中心にして大切な点を述べます。

マーク模試の一番の目的は自己採点の精度を高めることです。センター試験では受験直後に各自の得点は公表されないため、個別試験の出願校を最終決定するためには自己採点が不可欠です。今回の模試を通してセンター試験本番を想定して自己採点のトレーニングしてください。自己採点のためには、

- ① 問題用紙に自分が選択した番号に○印などで囲む。数学、番号の欄に数字や記号を書き込む。
- ② 解答解説を使って自己採点し、集計表に科目、小問毎に得点をかき、その得点を合計する。

③ 実際に返却された模試の採点結果と自己採点の結果を照らし合わせる。

本校では、次に実施するマーク模試は11月です。また8月の中旬に校外の会場で全統のマークを受験する予定です（毎年ほぼ全員が受験）。模試を通して、正確な自己採点ができるようにしましょう。

センター試験を攻略するためには、まず試験の形式や内容などの情報を集め、効果的な対策を行うことが大切です。効率よく学習プランを立てるために知っておく事実が3つあります。

その1 時間との勝負！ 英語の場合、解答時間80分 解答必要数55 1問あたり1分27秒！

だから、記述試験とは違う、センター試験の形式や傾向に慣れよう。

その2 選択肢の文章が長い上、どれが正しいか見分けがつかない！

だから、確実に解答するにはセンター試験に合わせた正確な知識・考え方が必要

その3 1点あたり約800名もの受験生がひしめいている！

毎年約50万人以上が受験するセンター試験ではわずか1点で何百番もの差がつくこともあり、その1点で合否が分かれることもある。

だからセンター試験で得点しやすい基本事項、頻出事項をチェックしておこう。

高1・高2対象 立命館大学高大連携プログラム 理系に進んで世の中かえよう！！

すでに教室にも案内を掲示しています。理系の進学を考えている人、文系と理系で悩んでいる人を対象にしたプログラムです。理系学部の講義や入門演習を通して、理系の学問の魅力に触れることができます。進路指導部に申込み用紙がありますので希望する人はその用紙に記入し、保護者の確認印をいただいて6月13日までに提出してください。このプログラムに限らず、他の大学も高校生対象としたプログラムを実施しています。関心のある大学、志望大学のホームページや進路指導室前の掲示したポスターなどで自分にあったプログラムをみつけて、参加し自分の世界や視野を広げてほしいと思います。

対 象：高校1・2年生

日 程：8月5日（火）～7日（3日間）

場 所：立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKIC）

大学の宿泊施設 1泊1800円・8人部屋に宿泊することも可能です。

実施内容：講義と大学入門演習

講義 人を科学する

理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部、そしてスポーツ健康科学部という一見異なる学問分野から、「人を科学する」という共通テーマに対して、違ったアプローチで講義が展開されます。受講することで学問の幅広さと深さを体験することができます。

大学入門演習

『問い』を設定する～調べる～整理する・まとめる～発表する（プレゼンテーション）

といった大学の学びの方法を、グループでの実習を通して体験することができます。

進路関係行事予定

6月 3日（火）高校2年生進路説明会 15時10分～16時20分 本校講堂（生徒・保護者対象）

6月 6日（金）～7日（土）高校3年マーク模試

6月13日（金）立命館高大連携プログラム申込み締め切り（高校1・2年対象）

6月24日（火）6・7限 高校1年アカデミックナビ

<保護者の方々にも手渡して読んでいただきますよう>

進路指導部通信2014など進路指導部が発信する情報を親和女子高等学校のHPで閲覧できます。